

河合篤男

名古屋市立大学経済学部

## 戦略駆動力の測定に向けた一考察

小集団を単位とする分析アプローチの検討

(要旨)

March 2025

The Society of Economics Nagoya City University

名古屋市立大学経済学会

# 戦略駆動路の測定に向けた一考察

## 小集団を単位とする分析アプローチの検討

2025年3月28日

### 要旨

戦略創出と実行の基盤としての、戦略駆動力の測定に向けた枠組みについて検討を行った。戦略駆動力の概念は、企業における「集合的な志」として定義づけられるが、その測定に関する議論はまだ進んでいない。本稿では、その測定に向けて、企業レベルと個人(社員)レベルの中間に該当する、小集団を単位とする分析の可能性を検討した。とくに、新たな戦略創出を生み出した小集団を調査対象とすることで、当該プロジェクトに関与した社員らの心的エネルギーとその変化を、具体的な事実に基づいて分析できると考えたからである。この概念の提唱者である加護野(2003)の議論からは、功利的な側面よりも企業理念と企業の目指す自己像の浸透が、「集合的な志」の喚起・持続に対する影響力を持つという仮説を組み込んで枠組みを検討した。また、企業理念と企業の目指す自己像の浸透の程度が、(小集団で局所的に観察された)戦略駆動力の周囲への伝播に影響を及ぼす仮定することで、戦略駆動力の生成と企業革新との関係性について照射しうる枠組みとして検討した。その上で、戦略駆動力と企業革新の関係性について、当該企業における既存の(支配的な)思考・行動様式との対峙が、戦略駆動力の喚起・持続に影響を及ぼすという仮説を組み込んだ。